

令和6年4月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年4月分について、輸出額は「自動車」「自動車の部分品」などが増加したことから、対前年同月比11.2%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」「液化天然ガス」「自動車」などが増加したことから、同15.7%の増加となった。

その結果、差引額は7,008億円（同7.2%の増加）となった。

名古屋港における差引額は平成23年6月以降155カ月（12年11カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。
名古屋港における輸出額、輸入額、差引額がいずれも4月として過去最高。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

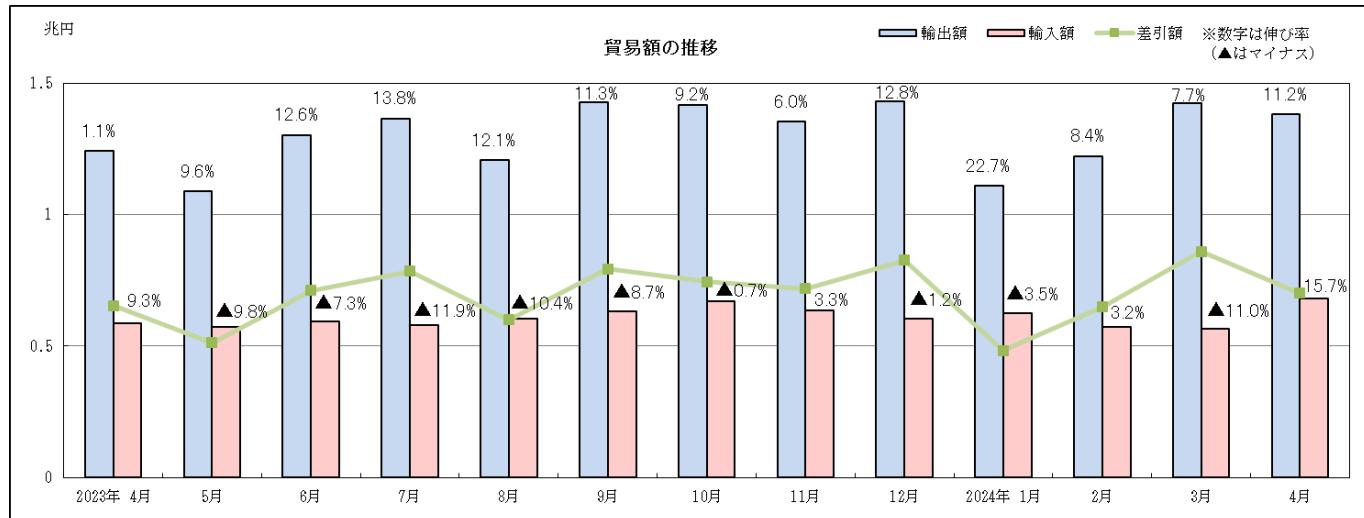
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆3,807億円	+11.2%	6,799億円	+15.7%	7,008億円	+7.2%
	30カ月連続の増加			2カ月ぶりの増加		12カ月連続の増加
	順位 過去5位	4月として1位	順位 過去2位	4月として1位	順位 過去15位	4月として1位
管内（名港シェア）	2兆1,872億円 (63.1%)		1兆2,537億円 (54.2%)		9,334億円 (—)	
全国（名港シェア）	8兆9,807億円 (15.4%)		9兆4,433億円 (7.2%)		▲4,625億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増加(1)	自動車	4,141億円	+10.4%	+3.1	2カ月連続の増加
出力増加(2)	自動車の部分品	1,819億円	+7.8%	+1.1	8カ月連続の増加
輸入増加(1)	原粗油	★ 914億円	+52.3%	+5.3	5カ月ぶりの増加
輸入増加(2)	液化天然ガス	512億円	+58.6%	+3.2	13カ月ぶりの増加
輸入増加(3)	自動車	109億円	12倍	+1.7	8カ月連続の増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。